

令和6年3月16日■～5月12日■

開館40周年／兵庫・沖縄友愛提携50周年記念特別展
首里城と琉球王国

1429年に成立した琉球王国は、アジアで広く貿易を展開して独自の文化を開花させました。慶長14年（1609）の薩摩藩による侵攻後には、美術工芸や文学・芸能の振興に力を注ぎ、その文化は隆盛しました。しかし、明治12年（1879）の「琉球処分」から昭和20年（1945）の沖縄戦の間に首里城をはじめとする多くの文化財が失われました。

本展では、首里城を拠点とした琉球王国の歴史、近世琉球の美術工芸品、風土に根ざした民俗を紹介するとともに、令和元年（2019）の焼失後、復元が進められている首里城正殿など、沖縄における文化の保存・継承を目指す取り組みを取り上げます。



神扇 沖縄県立博物館・美術館蔵

令和6年7月13日■～9月1日■

企画展
齋藤崎庵 -城崎の画家が夢見たユートピア-

齋藤崎庵（1805－83）は、幕末から明治にかけて活躍した城崎生まれの文人画家です。中林竹洞に画を学んだのち各地を旅して腕をみがきました。とくに山水画を好み、79歳で没するまで数多くの山水画を描きました。

この展覧会では、近年受贈した関茂昭氏のコレクションを中心に、関連する資料を交えながら崎庵を紹介し、知られざる郷土の画家・齋藤崎庵の魅力に迫ります。心遊ばせる理想郷として描かれた崎庵の山水画の世界をお楽しみください。



齋藤崎庵《四時山水》1880年（部分） 当館蔵（関茂昭コレクション）

令和6年10月5日■～11月24日■

特別展
ひょうご鉄ものがたり

淡路島における約二千年前の鉄器づくりのムラの発見や、播磨のたたら製鉄の研究の進展などにより、兵庫における鉄・鉄製品づくりの実像が徐々に明らかになってきました。歴史を振り返ると製鉄は兵庫県にとって深い関わりがあり、現代においても兵庫県の重要な産業の一つといえます。

本展では弥生時代の鉄器作りから中世の千種鉄、近世のたたら製鉄の盛衰を経て、現代の製鉄業に至るまで、兵庫県域を中心とした鉄にまつわる歴史をたどります。



鉄路轡（てつのたたら）『日本山海名物図会』 宝暦4年（1754） 当館蔵

令和7年1月11日■～3月16日■

阪神・淡路大震災30年特別展
阪神・淡路大震災を伝える・知らせる
－情報と通信の1990年代－

1995年1月17日、阪神・淡路大震災が発生しました。このとき、新聞やテレビ・ラジオは被災地のようすを伝え、自治体や支援者はラジオやパンフレットを通じて被災者に必要な情報を伝えました。そして被災した人たち自身が、みずからの経験を伝え、共有するため、さまざまなことに取り組みました。

この展覧会では、震災後の被災、支援、復興にかかわることからについて、人びとがどのように社会へ伝え、共有しようとしたのかを、1990年代の情報と通信のあり方から考えます。



長田区役所前夜間特設公衆電話（人と防災未来センター提供）

	2024.3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	2025.1	2	3	3/31
コレクション ギャラリー					「新史料発見 三木合戦と羽柴秀吉」 「近世の女性の生活文化」 令和6年4月6日～7月7日									
						企画展「齋藤崎庵」第2会場 令和6年7月13日～9月1日								
								「れきはくの新しい仲間たち-新収資料の紹介-」 令和6年9月7日～12月15日						
													「むかしのあそび」「描かれた唱歌」 令和6年12月24日～令和7年3月30日	
特別展・企画展													阪神・淡路大震災を 伝える・知らせる －情報と通信の1990年代－	



令和6年度（2024年4月～2025年3月）
れきはくもよし案内

れきはく講演会

友の会共催

事前申込

外部から講師をお招きし、魅力ある歴史の世界へ誘います

時間／各回14:00～15:30 定員／80名	場所／講堂 費用／無料
----------------------------	----------------

1

6月16日

日

「高度経済成長期兵庫県の山間地域―宍粟郡を事例として―」

長谷川 達朗 氏 静岡大学人文社会科学部講師

申込 5月5日(日)～5月27日(月)

2

6月30日

日

「兵庫県南部の民鉄電車技術史」

中山 嘉彦 氏 大阪学院大学経済学部教授

申込 5月19日(日)～6月10日(月)

3

10月13日

日

「戦後昭和マンガ史」

伊藤 遊 氏 京都精華大学国際マンガ研究センター准教授

申込 9月1日(日)～9月23日(月)

4

11月10日

日

「明石の戦争と戦後」

本井 優太郎 氏 明石市史編さん委員会

申込 9月29日(日)～10月21日(月)

れきはく連続講座

事前申込

当館の学芸員が連続で解説する古文書の世界に挑戦してみませんか？

時間／各回14:00～15:30 定員／20名	場所／多目的ルーム 費用／無料
----------------------------	--------------------

1

6月15日

土

「古文書に親しむ(中世入門編)」

6月22日

土

前田 徹

6月29日

土

申込 5月4日(土)～5月27日(月)

※この講座を初めて受講される方のみが申込みできます

2

9月7日

土

「古文書に親しむ(中世中級編)」

9月14日

土

前田 徹

9月21日

土

申込 7月27日(土)～8月19日(月)

3

11月16日

土

「古文書に親しむ(「鉄」関連文書を読む)」

11月23日

土

大黒 恵理

11月30日

土

申込 10月5日(土)～10月28日(月)

歴史の旅

友の会共催

事前申込

当館の学芸員が皆さんを歴史の舞台へご案内します

定員／20名 費用／実費＋保険料(100円)

1

3月8日

土

「三宮・元町周辺の災害史をたどる」

吉原 大志

申込 1月25日(土)～2月17日(月)

2

3月16日

日

「姫路モノレール廃線跡と旧手柄山駅を訪ねる」

鈴木 敬二

申込 2月2日(日)～2月24日(月)

れきはくアカデミー

事前申込

当館の学芸員が研究成果を発表します

時間／各回14:00～15:30 定員／80名	場所／講堂 費用／無料
----------------------------	----------------

1

4月28日

日

「琉球の妖怪(マジムン)」

香川 雅信

申込 3月17日(日)～4月8日(月)

2

5月12日

日

「首里城と琉球王国の歴史」

竹内 信

申込 3月31日(日)～4月22日(月)

3

8月3日

土

「齋藤崎庵の生涯と作品」

山口 奈々絵

申込 6月22日(土)～7月15日(月)

4

11月24日

日

「ひょうごの鉄道と輸入レール」

鈴木 敬二

申込 10月13日(日)～11月4日(月)

5

1月25日

土

「阪神・淡路大震災を伝える・知らせる―情報と通信の1990年代―」

吉原 大志

申込 12月14日(土)～1月6日(月)

れきはくワークショップ

友の会共催

事前申込

当館の学芸員によるさまざまな体験のワークショップです

時間／各回14:00～16:00 定員／20名	場所／多目的ルーム
----------------------------	-----------

1

7月27日

土

「ミニジオラマをつくろう」

香川 雅信 費用／1000円(友の会会員600円)

申込 6月15日(土)～7月8日(月)

2

8月11日

日

「ひょうご今昔カードゲームで遊ぼう」

竹内 信 費用／無料

申込 6月30日(日)～7月22日(月)

3

11月2日

土

「れきはくを探検!ARスタンプラリー」

山田 加奈子 費用／無料

申込 9月21日(土)～10月14日(月)

れきし博士スクール

兵庫教育大学連携事業

事前申込

ホンモノの資料に触れて学び、さらに博物館をじっくり探検します

時間／13:30～16:30 定員／20名 対象／小学校高学年～中学生	場所／講堂 費用／無料
---	----------------

1

8月17日

土

「地獄の世界へようこそ」

山内 敏男 氏(兵庫教育大学教授)、薬科 有美(当館学芸員)

申込 7月6日(土)～7月29日(月)

ユニバーサルイベント

友の会共催

事前申込

誰でも参加できるやさしいイベントです

時間／各回14:00～16:00 定員／20名	場所／多目的ルーム
----------------------------	-----------

1

5月25日

土

「オリジナルミニ鯨瓦をつくろう!」

薬科 有美 費用／300円(友の会会員100円)

申込 4月13日(土)～5月6日(月)

2

8月24日

土

「オリジナルミニ鯨瓦をつくろう!」

薬科 有美 費用／300円(友の会会員100円)

申込 7月13日(土)～8月5日(月)

3

3月1日

土

「やきものはなし」

鈴木 敬二 費用／無料

申込 1月18日(土)～2月10日(月)

ひょうご歴史文化フォーラム

事前申込

兵庫の歴史ファンが集う場、兵庫の地域史研究者の研究発表・情報提供の場として年に一度のフォーラムを開催します。(日時・会場等詳細は別途公表)

ひょうご歴史研究室

◇ひょうご歴史研究室は、平成27年(2015)4月、県民の郷土に対する愛着を深め、「ふるさと意識」に根ざしたひょうご文化の発展・継承をめざし、館内に開設されました。県内外の自治体や大学関係者などと連携して、「大阪湾岸と淡路の地域史」研究と、「鳴門の渦潮」調査研究プロジェクトに着手しています。

◇研究成果を公表するための「研究紀要」などの発行や、県民向けの研究成果発表フォーラムを開催するほか、随時、関連企画もおこなう予定です。

詳細は「ひょうご歴史研究室」ホームページ
(<https://rekihaku.pref.hyogo.lg.jp/laboratory/>)をご参照ください。

各もよおしへの申込み方法

★事前申込のもよおしは、申込み期間中(受付開始は開催日の6週間前)に当館ホームページから、もしくは往復はがきにてお申しいただけます。申込者が定員を超えた場合は抽選とし、結果は申込者全員にお知らせします。

ホームページ：各もよおし案内のご案内ページから申込み手続きを行ってください。受信拒否などをされている場合は、あらかじめ「@pref.hyogo.lg.jp」からのメールを受信できるよう、設定の変更をお願いします。

往復はがき：次の①～⑥を記入し、兵庫県立歴史博物館事業企画課(姫路市本町68)あてにお申込みください。

①もよおし名 ②住所 ③名前(ふりがな) ④年齢
⑤電話番号 ⑥友の会会員の方は会員番号

★参加費以外に交通費・入館料等の実費が必要となる場合があります。
★小学生以下が参加する場合は、保護者同伴とし、保護者の名前も記入してください。
★お申込みにあたっては、お一人ずつ手続きをしてください。
(往復はがき1枚につき1人の申込となります。グループなど複数名での参加のご希望には添えませんのでご留意願います。)
※詳細は当館事業企画課までお問い合わせください。

兵庫県立歴史博物館 友の会

郷土の歴史を愛好する人々が、歴史博物館を通して生涯学習や交流を深めています。会員には様々な特典があり、自分にあったボランティア活動にも参加できます。詳細は当館事業企画課まで。

会員の特典

- ①観覧料金の免除
②友の会だよりの送付
③講演会などイベント情報の送付
④研修旅行・史跡ウォーク(会員限定)への参加
⑤ボランティア活動への参加
⑥図録の割引販売
⑦当館カフェでの飲食料金の割引
⑧提携館の入場料を割引



年会費

正 会 員	年間会員(4月～3月)	3,000円
	後期会員(10月～3月)	2,000円
高校生以下 正会員	年間会員(4月～3月)	2,000円
	後期会員(10月～3月)	1,000円
家 族 会 員	(正会員の同居家族1名につき)	1,000円

おもな活動紹介

●研修旅行
5月22日
①「あをによし奈良の都を訪ねる～平城京周辺を巡る～」

10月16日
②「歴史と文化の城下町 津山を訪ねる」

●史跡ウォーク
12月7日
「「播磨の小京都」龍野城跡を歩く～童謡と醤油の里を巡る～」

●歴はく倶楽部
友の会のイベントボランティアによる「ものづくり」講座を開催
子供から大人まで楽しめます。
詳細は当館ホームページ等でご確認をお願いします。



利用のご案内

開 館 時 間 ／ 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休 館 日 ／ 毎週月曜日(月曜日が祝日・休日の場合は開館。翌平日休館)
臨 時 休 館 ／ 館内の保守点検のため、下記の期間は休館です。
令和6年12月16日(月)～令和6年12月23日(月)
年末年始休館 ／ 令和6年12月29日(日)～令和7年1月3日(金)
観 覧 料 ／ ①1階は無料です。2階カフェのみをご利用の場合、観覧料は不要です。
②講堂・多目的ルームでの催しのみに参加される場合、観覧料は不要です。
(別途参加費が必要な場合があります。)

区分	一 般	大学生	高校生以下
料金	200円	150円	無 料

※特別展・企画展の際は、観覧料が変更となります。
※70歳以上の方は半額です。
※障がい者は別途割引があります。障がいが1人につき、介護者1人は無料となります。
※団体でのご来館をご希望の場合は、事前にお問い合わせください。

講堂使用料／

区分	10:00～12:00	13:00～17:00	10:00～17:00
料金	4,200円	8,400円	12,600円



【交通機関】
●JR姫路駅・山陽電車山陽姫路駅から、神姫バス「国立姫路医療センター経由」系統で約8分、「姫山公園北・博物館前」で下車
●城周辺観光ループバスで約8分、「博物館前」下車

【駐 車 場】
●近隣の市営有料駐車場(城の北、姫山)をご利用ください。
●大型バスでのご来館の場合は、事前に博物館にご連絡ください。



上記SNS等で情報発信しています。ぜひご覧ください。